

現代パワーエレクトロニクス(河村篤男著) 初版第1刷正誤表 06-7-26			
頁	行(上から)	変更前の間違い	修正後の正しいもの
2	上から5行	半導体, スイッチングデバイ	半導体スイッチングデバイス
24	下から4行目	ファジーH	ファジー、 $H\infty$
26	下から2行目	式(2.17)	式(2.18)
34	下から5行目	なる時刻をC'とする	なる時刻を(e)図のC'とする
35	図3.8(d)	右上のキャパシタ	オン状態(ただの結線)
36	6行目	B相へモータ電流	B相へのモータ電流
38	3行目	電源と小型	電源として小型
46	4.3.1から3行目	次式のシステム方程式	次式の状態方程式
46	(4.1)式から1行目	xドットおよびb	xのドットを取る
48	下から1行目	(8.17)、(8.18)	(8.25)、(8.26)
50	(4.14)式から3行目	1サンプルの値	1サンプル先の値
51	図4.10のキャプションの下から1行目	直流電源(2箇所)	直流電源電圧
68	下から3行目	$i(t)$	$i_s(t)$
64	(5.6)式	$\{T - \Delta T(k)\}/T$	$\Delta T(k)/T$
69	(5.10)式から1行目	式(5.8)を式(5.9)に	式(5.9)を式(5.10)に
69	(5.12)式	$zL=V_L$	$zL=V_s$
69	(5.12)式から1行目	式(5.10)を式(5.11)に	式(5.11)を式(5.12)に
71	図5.16	右端の電流源 i_o の向きが下	右端の電流源 i_o の向きが上
72	図5.17	外乱項の第2項: V_{sh}/Z_{sh}	V_{sh}/Z_{Lh}
72	図5.17	外乱項全体の符号がー	外乱項全体の符号が+
72	図5.18	外乱項の第2項: V_{sh}/Z_{sh}	V_{sh}/Z_{Lh}
72	図5.18	外乱項全体の符号がー	外乱項全体の符号が+
72	図5.18	外乱オブザーバからのフィードフォワード項の符号が+	外乱オブザーバからのフィードフォワード項の符号がー
72	図5.18	外乱指定	外乱推定
73	下から1行目	図5.22	図5.21
80	図6.4	右端の電流の記号 i_{dref}, i_{qref}	i_d, i_q
89	図6.8	アンプの出力に"u"と書いてある	アンプの入力を"u"とする
103	下から1行目	式(7.38)	式(7.39)
107	上から7行目	$z=e^{-sT}$	$z=e^{sT}$
107	式(8.8)	右の項 $u(t-(k-1)T)$	$u(t-(k+1)T)$
114	(8.30)式の1行上	式(8.19)を	式(8.17)を
117	図8.4(b)横軸のキャプション	$(i+\mu_1) (i+\mu_1) (i+\mu_2)$	$(i+\mu_1) (i+\mu_2) (i+\mu_3)$
120	式(8.36)	$(A+bcfc)$	$(Ac+bcfc)$
120	式(8.36)	式の背景が青	式の背景をしるへ
120	式(8.37)	式の背景がしろ	式の背景を青へ
129	1行目	最初の式 $Asin(\omega t)$	$Acos(\omega t)$
129	1行目	2個目の式 $Acos(\omega t)$	$Asin(\omega t)$
131	下から5行目	右から4文字目のE	E/2
132	2行目	直流電圧	直流電源電圧
135	(C.4)式の右辺の2つの項	" $\Phi_0 \cos \theta$ " " $\Phi_0 \sin \theta$ "	" $-\omega_r \Phi_0 \sin \theta$ " " $\omega_r \Phi_0 \cos \theta$ "
135	式(C.6)から1行目	(B.10)	(B.12)
136	式(C.9)と(C.10)	3つ式に{, 1つの式に{	2つずつ、まとめて{
137	(C.14)の右の式	u_2 の上のベクトル記号	u_2 には、ベクトル記号は必要なし
144	下から1行目	$2\zeta \omega_n s +$	$2\zeta \omega_n s +$
145	上から2行目	外乱項 i_L にドットがある	ドットを取る